

同推くん

第9号

1997年6月25日

発行 海蔵地区同和教育推進協議会
TEL 31-3284 (センター内事務局)

97 啓発テーマ

力を合わせて・・・

差別を「しない、させない、許さない」運動を広げよう

- ◎身元調べや聞き合わせをしない
- ◎不合理な習慣や因習にとらわれない
- ◎相手の人格を学歴や職業などで判断しない
- ◎いじめや差別をしない
- ◎根拠のないうわさ話にまどわされたり、放言しない



会長あいさつ

海蔵地区同推協会長 米川 章

平素は同推協活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

前回、組織改革をして以来、三年を経過した今日、さらに組織の改革の必要性に迫られ、今年度の総会にて決定いたしました。

すなわち「啓発活動を進めるうえで、わかりやすく動きやすい組織」という観点から、役員を二名増員し、専門部の名称を変更して、委員の役割分担をより明確にしました。しかし、いかに組織の充実強化を図ったとしても、地区の皆さまのご支援、ご協力がなければ画餅に過ぎません。

折りしも四日市市では差別撤廃条例「部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例」が制定されようとしています。

しかし、条例ができただけでは差別は無くなりません。

法を法として生かすには住民一人ひとりの意識と行動が必要です。

全市民があらゆる差別に対する認識を深め、人権感覚を磨き、一日も早く明るく暮らしやすい社会の実現を目指して努力致しましょう。

本年度の主な行事

☆人権を考える集い 11月下旬 「お年寄りと人権」

☆地区懇談会 (7ブロック) 9～12月

ともに生きまよ

☆人権パネル展 12月



☆地域交流会 (神前同推協) 9月・2月

☆啓発紙「同推くん」の発行 6月・12月・3月

- 四日市同和教育研究大会 8月17日 四日市市文化会館
- 三重県同和教育研究大会 10月11～12日 (津市)
- 四日市人権週間講演会 12月ごろ 四日市市文化会館
- 三重県部落解放研究大会 2月21～22日 (津市)

本年度の役員紹介

| | |
|------|--------|
| 会長 | 米川 章 |
| 副会長 | 片岡 博一 |
| 副会長 | 宮田 豊 |
| 書記 | 今村 まき江 |
| 会計 | 堀部 美代子 |
| 事業部長 | 藤岡 満 |
| 啓発部長 | 近藤 好仁 |
| 広報部長 | 二井 勝 |
| 庶務 | 溝脇 勝義 |
| 庶務 | 伊藤 百合香 |

広報雑記・・・

同推の活動をしていると「そっとしておけば、差別は自然になくなるのでは?」「自分は差別をしていないのだから関係ない」といった意見をよく耳にします。しかし、就職や結婚など、身近に同和問題と直面したとき、わたしたちの態度はどうでしょうか。もし、自分自身、気づいていない差別意識を放置しておけば、わたしたちの人権意識を眠らせ、差別を温存し、つぎの世代に残してしまうこととなります。ですから、同和問題をわたしたち一人ひとりにかかわる問題として考えていきましょう。

ご意見・ご感想をお寄せください。(海蔵地区市民センター内事務局)